

2026

10

October
No. 404

広報

みしま

福島県
大沼郡
三島町



三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

9月25日に行われた「田んぼの学校」の稲刈り。
久しぶりの青空の下、子どもたちが元気に作業をしていました。



決算

はじめに

町の一般会計、特別会計、公営企業会計の令和7年度決算が、町議会9月定例会で認定されました。一般会計で前年度と比較すると歳入総額は1.2%減、歳出総額は4.6%減となりましたが、経常収支比率は1.1%上昇し、110.3%となりました。経常的な収入だけでは経常経費を賄いきれず、臨時的な収入も経常的な支出に充当していることを示しています。これは、町の標準的な歳出規模に対して、地方債の償還にかかる金額が多いこと、また近年の物価高騰により経常的にかかる多くの経費が増加していることが要因です。今後、経常的な経費を削減しなければ、財源が不足し、予算が編成できなくなる恐れがあるため、これまで以上に経常経費を削減することが必要です。

財政健全化

自治体の財政破たんを未然に防ぎ、財政状況の悪化した自治体に対して早期に健全化を促すために、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき「健全化判断比率」と「資金不足比率」の公表が義務付けられています。健全化判断比率の中で、一般財源の規模に対する公債費(借金の返済金)の割合を示す「実

健全化判断比率			
判断指標	令和6年度	令和7年度	早期健全化基準
実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	15.0%
連結実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	20.0%
実質公債費比率	15.6%	17.5%	25.0%
将来負担比率	5.5%	—	350.0%

※ 令和7年度の将来負担比率はマイナスとなり算定されないため「—」となります。

資金不足比率			
対象となる事業	令和6年度	令和7年度	経営健全化基準
簡易水道事業	不足なし	不足なし	20.0%
下水道事業	不足なし	不足なし	

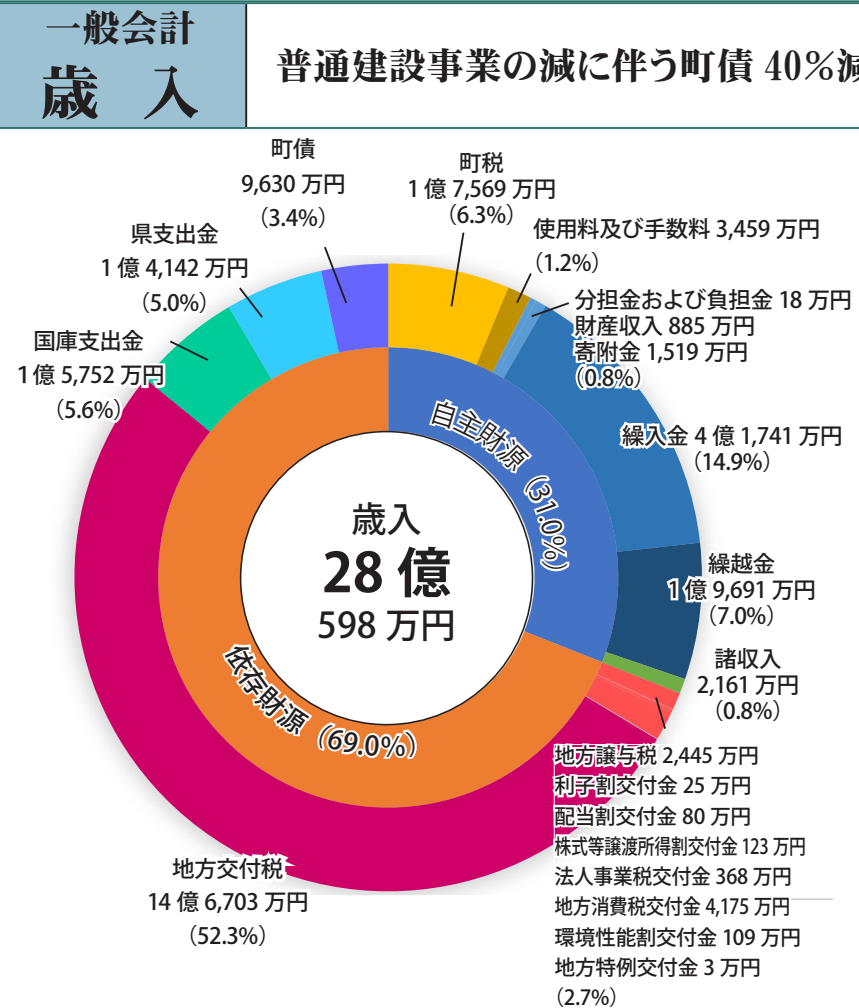
基金

基金は「町の貯金」です。近年は歳出に対して歳入が不足しており、基金を取り崩して財源に充てているため、基金残高が早いペースで減少しています。令和7年度は繰越金を財政調整基金と減債基金に積み立てましたが、最終的に財政調整基金は2億1,286万円の減、減債基金は2,974万円の減となり、基金全体の残高は2億3,138万円の減となりました。今年度予定している繰り上げ償還の財源として、減債基金を取り崩すため、さらに基金は減少する見込みです。今後は、ふるさと納税など、歳入の増加を図るとともに、徹底した歳出削減により、基金に頼らない財政運営を目指します。

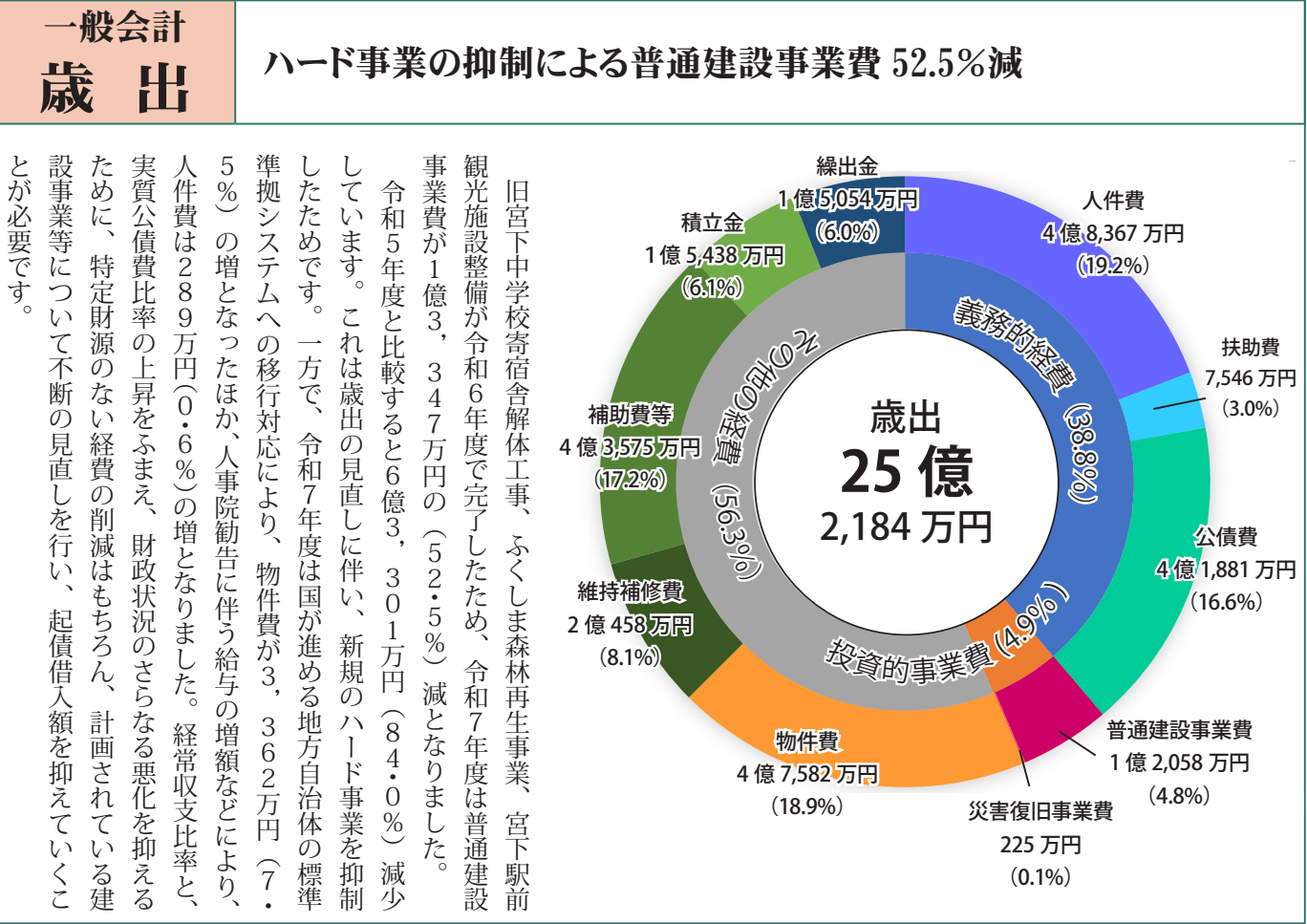
基金種別	令和7年度末残高	増減
一般会計繰入が可能な基金の合計	8億8,401万円	▲2億6,032万円
財政調整基金	2億2,093万円	▲2億1,286万円
減債基金	2億7,417万円	▲2,974万円
その他の各種特定目的基金	3億8,891万円	▲1,772万円
国民健康保険基金	2,436万円	▲99万円
介護給付費準備基金	7,968万円	2,993万円
定額運用基金	1億6,410万円	—
合計	11億5,215万円	▲2億3,138万円

令和7年度は令和6年度と比較して歳入総額が3,396万円減少しました(1.2%)。これは、普通建設事業が大幅に減少したことに伴い、町債の借入れも減少したことに加え、令和7年度は繰り上げ償還を実施せず、減債基金の取り崩しが減ったため、繰入金が減りました。一方で代表的な歳入である普通交付税は1,367万円増え、12億6,799万円となりましたが、除雪費の減などにより、特別交付税は3,531万円減少し、1億9,903万円となりました。また、テレサテェン歌碑建立のために募ったクラウドファンディング分の減により、寄付金は総額では424万円の減となったものの、令和7年度から企業版ふるさと納税がスタートし、457万円の寄付が寄せられました。

普通建設事業の減に伴う町債 40%減、繰入金 14%減



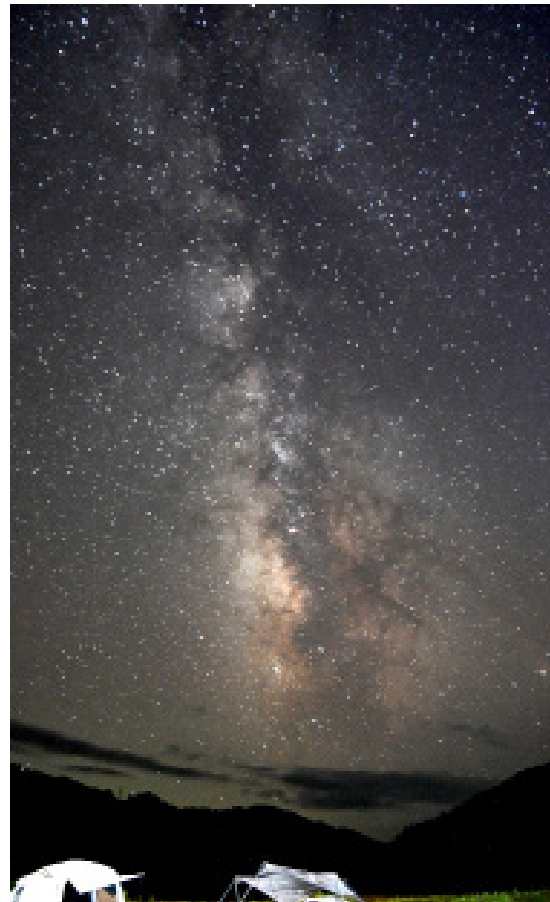
ハード事業の抑制による普通建設事業費 52.5%減



令和7年度会計別決算額		
会計種別	歳出決算額	増減率
一般会計	25億 2,184万円	▲4.6%
特別会計	国民健康保険	1億 2,848万円 ▲18.9%
	路線バス	3,522万円 6.3%
	介護保険	4億 806万円 7.1%
	後期高齢者医療	4,424万円 15.4%
公営企業会計	簡易水道	1億 3,453万円 ▲0.2%
	下水道	9,694万円 16.7%
	合計	33億 6,931万円 ▲3.0%

雨上がりの天の川を見上げて

—「ミサカノヨゾラ2026」 雨の合間に広がる奇跡の星空—



▲ 美坂高原の空に浮かび上がる雨上がりの天の川



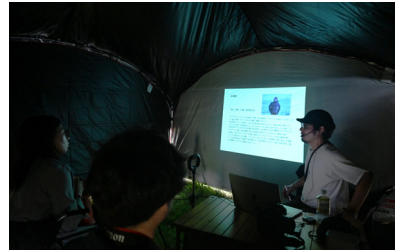
▲ 「美坂高原マルシェ」



▲ 「望遠鏡づくりワークショップ」



▲ ヨガ講師上野沙紀さんによる日中ヨガ「大地を感じるじかん」



▲ キャンプフォトグラファーの猪俣慎吾さんによる「星景写真撮影講習会」



▲ 「星空ヨガとハーブ演奏」



▲ 天文学者渡部潤一先生による講演会

令和9年度の三島町星空事業について

「星空の街・あおぞらの街」全国大会の開催を検討

三島町では、令和9年度「星空の街・あおぞらの街」全国大会の開催候補地として、受入れを検討しています。美坂高原で進めている星空を活用した活動を全国に発信するとともに、「ミサカノヨゾラ」など、既存イベントとの連携も視野に入れています。

「星空の街・あおぞらの街」全国大会とは・・・

環境省・「星空の街・あおぞらの街」全国協議会・開催自治体が主催し、平成元年度から毎年、全国各地で開催されている大会です。全国協議会は、大気環境の保全や星空観察の推進、地域資源を活かした地域振興等を目的として活動しており、全国の自治体等380団体（令和8年3月31日時点）が参加しています。

主な内容 環境保全活動に対する表彰、地域・学校等による活動報告、記念講演、星空観望会などを行い、全国の自治体・関係団体が取組を共有・発信します。

雨と霧に見舞われながらも、観望会の時間には天候が回復し、まるで星空イベントを後押しするかのよう美しい星空が広がりました。参加者にとって思い出に残る「ミサカノヨゾラ」となりました。

9月13日、「ミサカノヨゾラ」が開催されました。日中は青空が広がり、会場には多くの方が訪れました。美坂高原マルシェでは、出店者からおいしい食べ物を買い求める人でぎわったほか、ものづくり体験のワークショップも行われました。キャンプフォトグラファーの猪俣慎吾先生による星景写真撮影の講習会、大地を感じる日中のヨガプログラム「太陽礼拝」など、参加者はさまざまな体験を楽しみました。

夕方には、望遠鏡づくりや星空ヨガ、ハーブ演奏も行われました。静かな夕暮れの高原で、心地よいハーブの音色に耳を傾けながら行うヨガは、参加者を幻想的な夜のひとときへと誘いました。

しかし、夜になると雨が降り始め、一時は天候が心配されました。

それでも、天文学者の渡部潤一先生による講演が始まる前には雨が上がり、無事開催することができました。星や宇宙にまつわる興味深いお話が紹介され、参加者は熱心に耳を傾けました。

続く星空観望会では、雨の影響で霧が立ち込めていましたが、時間が経つにつれて霧も晴れ、少しずつ星々が姿を現しました。参加者は夜空を見上げながら、望遠鏡で星を観察し、宇宙の神秘を楽しみました。

雨と霧に見舞われながらも、観望会の時間には天候が回復し、まるで星空イベントを後押しするかのよう美しい星空が広がりました。参加者にとって思い出に残る「ミサカノヨゾラ」となりました。

これからもお元気に!!

長寿を祝い、笑顔あふれる敬老会

9月2日、町民センター大ホールにおいて、令和8年度敬老会が開催されました。75歳以上の対象者480名のうち、当日は116名の方が会場に足を運ばれました。

式典では、結婚50年を迎えた金婚夫婦4組が福島民報社より表彰され、会津坂下支局長から表彰状が授与されました。また、88歳の米寿を迎えられた9名の方、99歳の白寿を迎えられた2名の方にも、長寿のお祝いとして町から表彰状が贈られました。

矢澤源成町長からは、これまでのご尽力への感謝が伝えられ、「皆様が培われた豊かな経験を生かして地域で活躍し、住み慣れた三島町で互いに支え合いながら、いつまでもお元気で過ごしてください」と、今後の健康を願う言葉が送られました。

続いて、飯塚国英三島町老人クラブ連合会長から謝辞が述べられて式典は終了し、その後、敬老演芸会が行われました。

演芸会では、三島保育所のきりん組・ぱんだ組の子どもたちが体操と歌を披露したほか、地域おこし協力隊の茂田龍揮さんによる箏の演奏、三島町太神楽保存会による神楽が披露されました。会場は子どもたちの元気な姿や美しい箏の音色、伝統芸能の迫力に包まれ、参加された皆さんは笑顔でそれぞれの演目を楽しまれていました。

長年にわたり地域を支え、町の発展に尽力されてきた皆さんのご長寿をお祝いするとともに、普段会えない方との交流を楽しむ、心温まる一日となりました。これからも皆さんが住み慣れた三島町で、健やかに、そして笑顔で過ごされることを願っています。

地区	氏名
大登	角田 進 様
西方	山内 孝子 様
西方	山垣 光英 様
大石田	五十嵐 保徳 様
大石田	貞子 様

地区	氏名
宮下	増井 善雄 様
宮下	岩佐 節子 様
宮下	大竹 清喜 様
滝谷	大竹 順子 様
大谷	五十嵐 モト子 様
大谷	二瓶 譲 様
大谷	角田 チヨ子 様
間方	舟木 義晴 様
西方	高橋 カツ子 様

地区	氏名
宮下	植木 クニ子 様
宮下	二瓶 奈良子 様

しあわせ金婚夫婦（結婚50年を迎えられたご夫婦）



▲ 山垣様ご夫婦（西方）



▲ 山内様ご夫婦（西方）



▲ 角田様ご夫婦（大登）



▲ 五十嵐様ご夫婦（大石田）

演芸プログラム



▲ 三島町太神楽保存会「長獅子・火男」



▲ 茂田龍揮さん（地域おこし協力隊）「春の海」



▲ 三島保育所「たけのこ体操」・「上を向いて歩こう」

伝統を守り継ぎ、新たな桐製品で桐の魅力を伝えていく 会津桐タンス株式会社



▲ 桐タンスを始め、品質の高い桐製品を作り続けてきた三島の桐タンス職人



▲ 加工に向けて乾燥させている桐材

昭和59年、町は貴重な会津桐を守り、地域の雇用創出と地場産業の振興につなげるため、「会津桐タンス工場」を整備し、平成9年には町と町民が株主となり、「会津桐タンス株式会社」が設立されました。

三島町産の会津桐は「特級品」と評され、全国の箆や桐タンスの産地へ原木を出荷してきました。皇族の衣装タンスにも用いられたとされるなど、古くからその品質の高さが評価されています。

しかし、桐の栽培を続けることが難しくなっている現在は、それに伴い桐の生産者や、品質を見極め価格をつける桐材業者、桐製品を作る職人も大きく減少しています。

こうした状況の中、同社では新たな需要を生み出す商品開発に試行錯誤を重ねています。

現在も確実にある桐の需要を掘り起こし、桐製品の販売利益を生産者に還元することで、栽培意欲の向上へとつなげていきます。そして植栽から30年を経て、良質な桐材が育つ未来を見据え、三島町の会津桐を次世代へつなぐ道を模索しています。

地元と協力し、未来に三島の桐をつなげる 佐久間建設工業株式会社



▲ 桐の生育状況を確認する植栽地の所有者である宮下財産区の役員と佐久間建設工業（株）の社員の方



▲ 植林地で生育されている桐

福島県会津農林事務所が桐の植栽を推進する中、2019年から福島県林業研究センターが開発した「玉植え苗」を継承したことが、当社の桐植栽の始まりです。

「玉植え苗」は、佐久間建設工業株式会社をはじめとする3社と会津農林高等学校が「会津里山森林資源育成研究会」を設立し、育成と普及に取り組んでいます。当社も会津全域への植栽を目指して活動しており、今年4月には新たに20本を植林し、現在約200本を育林しています。

植林地は宮下財産区の土地にある、沼沢発電所建設時の土砂などを処分した場所で、桐は順調に生育しています。一部では西日の影響とみられる干割れも確認されていますが、全体として良好な成長を見せています。

桐の生育地が減少する中、今後も適切な管理を続け、三島の地で良質な会津桐を育て、その価値を次世代へつないでいく取り組みを進めていきます。

未来につなぐ日本一の会津桐

三島の桐



▲ 町が桐の花の紫色に染まっていた最盛期頃の宮下の風景

三島町と会津桐の歴史は古く、安土桃山時代まで遡ります。明治から昭和にかけては、最盛期に約30万本の桐が植栽され、畑に作物を作ることができないほど桐の栽培が盛んだった時期もありました。また、昭和30年代から50年代にかけては、原木の産地として栄え、桐の木1本の価格が200〜300万円ほどにもなり、まさに「金（きん）の木」と呼ばれるほどでした。

しかし、昭和50年代以降になると、外国からの安価な輸入材に押され、桐材の価格が下落するとともに、生活様式の変化などから、最大の需要を誇っていた桐タンス販売も次第に減少していきました。その結果、昭和45年には6万本近くあった桐の木が、令和7年度の調査では約1,200本まで激減しています。

こうしたなか、日本一良質な桐の産地と評され、町の象徴でもあった会津桐を次の世代へつなぐため、桐の栽培から産業振興・利活用まで、会津桐に関わる皆さんのさまざまな取り組みを紹介します。

町の取り組み



▲ 工人の館周辺の桐（4年生）



▲ 黒男山の桐（26年生）

① 会津桐植栽モデル林

町内の約90%を占める山地を活用し、実証を兼ねて桐の植栽に取り組んでいます。

西方地区の共有地約1ヘクタールに240本を植栽したことを皮切りに、その後も植栽を続け、現在では約860本に達しています。植栽後は、毎年、保育管理を行っています。

桐の生育はおおむね良好で、植栽から30年を迎える令和12年以降、順次伐採を開始し、町の出資会社である会津桐タンス株式会社での活用を予定しています。

② 「桐栽培の手引き」の作成

令和2年度に県の森林環境交付金を活用し、当時の桐専門員が桐栽培の知識や技術を後世に伝えていくため、桐栽培の冊子を作成しました。

冊子では、種からの栽培や分根による栽培、その後の保育管理など、桐の栽培に関する知識や技術をコンパクトにまとめ、町民の皆さんに広く配布しました。



▲ 桐栽培の手引き



③ 会津桐の産業振興

町内の公共施設や駅などに、会津桐を使ったテーブルやイス、カウンターなどを設置し、訪れた方に実際に会津桐に触れてもらう機会を設けています。また、保育所や小・中学校にも桐の机、テーブルなどを設置し、幼少期から桐に親しむことで、会津桐への関心や理解を深めてもらう取り組みを進めています。

こうした取り組みを通して、会津桐の魅力を広く知ってもらうとともに、タンスに代わる新たな会津桐製品の開発や販路の拡大にも取り組んでいます。



▲ 会津宮下駅の桐製イス・テーブルなど

特集 「住みたい、住み続けたい ふるさと(桐源郷)を創る」ために

三島町で働き暮らす魅力とは

シリーズ第4回

前回は三島町において個人で農業を営む方へのインタビューをとおして、仕事の選択肢の一つとしての三島町の農業を知っていただくとともに、持続可能な町づくりを支える人々の姿をお伝えしました。

今回は三島町に住み、町内の組合や企業で働く方へのインタビューをとおし、それぞれの業務内容とともに、働く中で感じる三島町の暮らしの魅力をお伝えします。

奥会津地域づくり協同組合



事業内容	労働者派遣事業（3町村・21組合員へ）
従業員数	事務局職員4名（短時間勤務）、派遣職員3名
勤務時間	1日8時間労働、週40時間が基本（休憩1時間）
年間休日等	約120日
休日・休暇	基本：土日祝日、年末年始、有給休暇、夏季休暇 ※派遣先により土日祝日勤務になる可能性あり。 その場合は振替休日を取得
給与等	月給210,000円（ほか前払退職金10,500円、住宅手当5,000円、通勤手当、業務手当等）
現在の求人	正職員（無期雇用派遣職員）3名

組合からのメッセージ

本組合は、国の過疎対策事業の一環として、地域の人手不足と移住定住対策の一つであり、仕事がないことで地域を離れる人を減らし、移住したい人に仕事を提供することを目指す組合です。

例えば、三島町への移住者が仕事の選択に困っていた際、組合と雇用契約を結び、三島、柳津、昭和の3町村の事業所にマルチワーカーとして派遣されます。様々な仕事を経験した中で、自分に合った企業を見つけ、その企業へ就職してもらうことで、より良い仕事を選択することが出来ます。組合が無期雇用、社会保険加入、月給制の条件で派遣職員と雇用契約を結ぶことで、派遣職員は安心して生活することが出来ます。

現在3名が、組合員の事業所のいずれかへと派遣され、業務に当たっています。派遣先である組合員の方々に対して大切にしていることは、組合員さんへ意向調査等を行いニーズを再確認しながら、派遣職員の必要な資格取得や刈り払い機の安全講習受講等といったニーズに対応できる体制づくりに努めています。

従業員である派遣職員の方々を大切にするため初めて派遣先へ赴く際には、事前に派遣先の情報をお伝えしています。また、派遣先での困りごとを気軽に相談できる機会を設けるとともに、仕事に必要な免許の取得費用についても組合が負担しサポートしています。

三島町や柳津町、昭和村という、この地域が好きで、貢献したい方、様々な仕事を経験してみたい方、好奇心をもって何事も吸収し自分の糧にしようとする姿勢がある方、ぜひ奥会津地域づくり協同組合の派遣職員として働いてみませんか。

社員インタビュー



五十嵐 秋さん
(40代)

早戸地区在住
埼玉県さいたま市出身
勤続4年目
(派遣職員、事務局職員)

Q1. これまで派遣された事業所等はどこですか？

早戸温泉つるの湯、つるのIORIカフェ、三島町サービスステーション、桐の里産業(株)、福寿草デイサービス、特別養護老人ホーム桐寿苑、(有)グリーンファーム、しらかば荘、(株)ファインモールド、佐久間建設工業(株) 森林事業部、NPO法人わくわく奥会津・COMです。1か月間同じ派遣先のときもあるし、1か月の中で4、5か所掛け持ちになることもありました。

Q2. この職場を選んだ理由はなんですか？

私の場合は、三島町への移住を考えたのが先でした。それまで棚田のお手伝いで大登・川井地区に10年くらい通っていました。体調不良だった際、三島町に長期滞在したことで体調が劇的によくなり、この環境が自分に合っていると感じ、本格的に移住を考えるようになりました。その時に地域の方からこの組合を紹介いただいたのがきっかけです。また広域の組合なので、まだ知らない地域のことを広く知ることができると考えて選びました。

Q3. この職場のよいところ、大変なところはなんですか？

よいところは、地域に貢献されている様々な企業に派遣され実際に勤務することで、そのお仕事の魅力、職場の雰囲気を知ることが出来ます。また、普段の生活では訪れたことが無かった場所、人に出逢えることも魅力だと思います。派遣先でできたご縁で人間関係が広がり、地域で暮らす知恵や関心事についての情報を得ることが出来ました。

経験のない仕事は、業務内容を身につけ慣れるまで、職場での信頼関係を築くことも含め最初は大変かもしれません。仕事を覚えた後も様々な派遣先をまわることもあるので、必ずメモを取っておく様にしていました。

Q4. 三島町で働き暮らす生活はどうですか？

派遣先の事業所では、どこへ行っても人がやさしく、人の良さを感じていました。皆さん勤勉で誠実に仕事をしているという印象でした。仕事で根を詰めたときも、通勤中の緑豊かな景色に癒されリフレッシュできました。

現在は畑や庭いじりも楽しいです。私にとってはこの環境が合っています。雪は大変でしたが周りの方々も助けてくださいました。移住して良かったと思います。

Q5. 今後の抱負はなんですか？

暮らしてみても、東北の方の忍耐強さ、誠実さ、細やかさ、優しさ、気配り、マメさは見習うところが多いです。仕事面でも生活面でも、移住のきっかけになった人々の知恵深さ、人間性を見習って、人間的に成長することが目標です。

マルチワーカーの働き方

≪派遣職員の勤務パターン≫

- ・毎月、組合員からの派遣利用依頼をもとに、職員のシフトを作成
- ・派遣職員は、ひと月に複数の組合員に勤務することもあります

	月	火	水	木	金	土	日
(例) 職員A	林業（伐採等） 技術サービス（他に分類されないもの） （除草・除雪補助）			総合工事業（除草・除雪補助）、 社会保険・社会福祉・介護事業 （介護業務）			
(例) 職員B			廃棄物処理業（廃棄物収集・清掃）、 農業（農耕作業）、道路旅客運送業 （運送業務）			宿泊業、飲食店（接客販売業務） 洗濯・理容・美容・浴場業 （宿泊・温泉施設の接客・販売・ 清掃業務）	

シーソーゲームの熱戦！

三島町ゆかりの選手たちが結集！野球で広がる新たな交流の輪

チーム名簿

No.	背番号	位置	氏 名	参加選手枠
1	30	監督	西 恭 平	
2	10	主将	三 浦 健太郎	
3	1	投手	板 橋 洋 平	
4	17	投手	志 田 雅 史	
5	24	投手	三 上 颯 太	東北電力 (株)
6	2	捕手	舟 木 孝 幸	ふるさと選手
7	6	捕手	佐 藤 大 翔	三島町役場
8	3	内野手	根 城 新 太	東北電力 (株)
9	4	内野手	青 木 倉 揚	ふるさと選手
10	5	内野手	二 瓶 健 嗣	
11	11	内野手	小 松 風 河	東北電力 (株)
12	16	内野手	芳 賀 翔 真	県立宮下病院
13	19	内野手	小 松 順 哉	ふるさと選手
14	27	内野手	五十嵐 豊 明	ふるさと選手
15	28	内野手	本 名 貢	ふるさと選手
16	29	内野手	佐久間 伸 也	ふるさと選手
17	31	内野手	二 瓶 紀 和	
18	0	外野手	小 松 翼	
19	7	外野手	青 木 武 彦	
20	8	外野手	佐久間 秀 実	
21	9	外野手	山 本 敬 晴	
22	13	外野手	阿 部 翔 兵	
23	22	外野手	目 黒 裕 邦	
24	23	外野手	西 方 英 明	ふるさと選手
25	25	外野手	成 田 勝 俊	滝谷建設工業 (株)
26	26	外野手	阿 部 将	ふるさと選手
27	18	コーチ兼選手	阿 部 和 彦	

第20回市町村対抗軟式野球大会が9月5日に開催され、三島町チームが出場しました。チームは町内在住者に加え、町出身の「ふるさと選手」や町内企業に勤務する選手で構成された「三島町ゆかり」の混成チームです。また、今年からユニフォームを新調し、気持ちも新たに試合に挑みました。

普段はそれぞれの職場で働く選手たちが、休日や夜間に集まり練習を重ねて結束を強化し、野球という共通のスポーツを通じ、町内の若手選手と世代や職場の垣根を超えた絆を育みました。

試合は磐梯町を相手に一進一退の接戦となり7対4で惜しくも敗れたものの、最後まで熱のこもったプレーを見せました。

町外に住む出身者や通勤者が「三島町代表」として共に汗を流し深めた絆は、町の関係人口や交流人口の拡大につながる貴重な財産です。選手からは「雰囲気の良いこのチームで来年もまた挑みたい」との声も聞かれ、未来へつながる爽やかな大会となりました。



▲町出身ふるさと選手



▲町内勤務町外在住選手



▲町内勤務（東北電力（株））選手



▲逆転タイムリーを放つ佐藤選手（三島町役場）



▲堅実な守備を見せる三上選手（左）と小松選手（右）



▲試合終了後の集合写真

羽賀建設工業株式会社



事業内容	土木工事業の建設会社
従業員数	15 人
勤務時間	7 時 45 分から 17 時 15 分まで (休憩 1.5 時間)
年間休日等	127 日 ※完全週休二日制
給 与 等	賞与年 2 回、期末手当年 1 回
現在の求人	現場管理、現場作業、建設機械運転、ダンプ運転等

企業からのメッセージ

当社は土木工事業の建設会社で、県や町から公共工事を受注して会社を営んでいます。道路や河川の改良工事や道路に設置してある防護柵、橋梁補修等の維持補修工事を行っています。また、宮下地区建設業協同組合の組合員として、主に三島町と柳津町の道路や河川の維持補修業務も行っています。冬期間は宮下地区建設業協同組合の組合員として県道や町道の除雪を担っています。

お客様に対して大切にしていることは、決められた工期内により良い品質のものを作り、信頼を得ることです。従業員の方々に対して大切にしていることは、年々歳を重ねる中で健康で長く働いていただけるような環境をつくることです。具体的には、今年度から週休二日制を導入したり、近年の夏の暑さに対応するために空調服を支給したり、休憩時間外であっても体調に応じて休憩を取ってもらうこともしています。「工期を守る」という従業員の意識が統一されているため、休憩も含め、安心して現場を任せています。また年1回、安全靴と合羽の支給も行っています。

経験者未経験者問わず、一緒に働く仲間を常時募集しています。建設業に興味がある人、健康である人、意欲のある人を大歓迎いたします。

社員インタビュー



Q1. 担当している業務はなんですか？

建設機械運転やダンプの運転、現場作業全般です。従業員それぞれが専門的な資格を持ち、培ってきた経験や技術を活かして業務に取り組んでいます。

Q2. この会社で働こうと思った理由はなんですか？

この会社で働く前も建設業に携わっていましたが、その会社を辞めたときに、現在の羽賀建設工業の会長に声を掛けてもらったのがきっかけです。

Q3. この会社で働いてどのくらいになりますか？

平成16年から働き始めて22年になります。建設業に従事して40年です。

Q4. この職場のよいところ、大変なところはなんですか？

よいところは、良好な人間関係があることで、そもそも休暇の取得はお互いがフォローし合いながら融通を利かせることができることです。

大変なところは、昔と比べると夏の暑さが長引くようになり、現場での作業が大変です。それでも会社から支給された空調服の効果を実感しながら仕事に励んでいます。また、高齢なので力仕事などは大変です。

Q5. 今後の抱負はなんですか？

このまま、健康でいられるように体を維持することです。

大竹 昇さん
(70代)

滝谷地区在住
三島町滝谷地区出身

勤続 22 年目

まちの話題

宇宙の魅力に触れる 渡部潤一先生の「宇宙の授業」



▲ 渡部潤一先生が教えて下さる宇宙の話に熱心に聞き入る参加者

京都産業大学^{こうやま}神山宇宙科学研究所所長の渡部潤一先生による「宇宙の授業」が9月10日町民センターで開催されました。

参加者は、天体シミュレーションをとおして、星の動きや月までの距離などを学んだほか、小惑星探査機「はやぶさ」に関する映画映像を鑑賞しながら、人が星空に抱く夢や宇宙への挑戦について、先生の熱い講話に耳を傾けました。

4回目を迎えた今回も大盛況となり、休憩時間には子どもたちが先生のもとへ駆け寄る場面もあったほか、講話後の質問時間には、ブラックホールやローカルボイド（※）など、大人顔負けの鋭い質問を投げかける場面もみられました。

教室の最後には、三島小学校の児童から、宇宙服をイメージした靴と望遠鏡が感謝の品として贈られました。

星空保護区の認定を目指す三島町。渡部先生との交流をと

おして、子どもたちの関心は着実に深まっています。ふるさとが誇る、貴重な星空環境を守り、次の世代へつないでいってくださることを願います。

※ローカルボイド：おとめ座超銀河団にある物質の存在しない巨大な宇宙の一領域

熱い走りと絆でタスキをつなぐ 全会津中体連駅伝大会

9月15日、下郷町の大川ふるさと公園で第74回全会津中学校体育大会「駅伝競走大会」が開催されました。選手たちは、特設コースで、タスキをつなぎ力走しました。

指導された走りのポイントを意識して臨んだ結果、多くの選手が自己ベストを更新することができました。今回の経験を糧とし、それぞれの目標に向かって励んでいくことを期待しています。

会場で応援して下さった保護者の皆さまをはじめ、また、ご家族の温かいサポートに心より感謝申し上げます。



女子駅伝 (オープン駅伝)

学年	氏名
3	二瓶 悠夏
3	熊谷 祐衣
2	五十嵐 悠月
1	金子 雫

男子駅伝

学年	氏名
3	鈴木 瑠希
3	二瓶 健
2	布川 琉生
1	青木 大知
1	大竹 真太郎
1	佐久間 結人
1	鈴木 秀生
1	鈴木 響希
1	秦 直央

佐久間建設工業株式会社へ 日本赤十字社本社感謝状を伝達

日本赤十字社三島分区長を務める矢澤町長から9月24日、佐久間建設工業株式会社の佐藤岩男代表取締役社長へ、「日本赤十字社本社感謝状」が伝達されました。

同社は、多額の寄附をとおして、赤十字事業の進展に大きく貢献をされ、その功績に対して感謝状が贈られたものです。



▲ 矢澤源成町長と佐藤岩男代表取締役社長

仲間と共に重ねた練習の成果 三島町消防団 消防操法大会県大会に出場

第46回福島県消防操法大会の県大会が8月30日、福島県消防学校（福島市）で開催されました。

三島町消防団は「ポンプ車操法の部」に出場するため、宮下班を中心に、川井班、滝原・早戸班の選手を加えた混成チームを結成。6月下旬から約2か月間、仕事を終えた夜間に集まり、練習を重ねてきました。

会津坂下消防署三島出張所の指導や、宮下班をはじめ多くの方々の支援を受け、大会に臨みました。

当日は競技が始まる頃には雨も弱まり、選手たちは練習の成果を発揮。出場10チーム中、総合6位となりました。競技タイムは4位で、優勝チームを上回る記録を出すなど、接戦を繰り広げました。

今大会で培った技術と連携は、今後の消防活動や町民の安全・安心を守る力として生かされます。

役職	所属班	氏名
指揮者	宮下	板橋 洋平
1番員	宮下	西 恭平
2番員	川井	三浦健太郎
3番員	宮下	志田 雅史
4番員	滝原早戸	佐久間秀実
補欠	宮下	鈴木 亮
吸管補助員	宮下	茂田 龍揮



▲ 競技後の集合写真



▲ 競技の様子

鳥獣被害から町を守る！ 鳥獣対策専門員に鈴木亮さん

鳥獣対策の地域おこし協力隊を終えた鈴木亮さんが9月1日、三島町役場産業建設課所属の鳥獣対策専門員に着任しました。

近年、町内ではサルやイノシシなどによる農作物被害や生活圏への出没が相次いでいます。鈴木さんは今後、被害状況や出没情報の把握、現地調査、関係機関との情報共有などを行い、地域に合った対策を進めます。

地域の皆さんと連携し、被害の未然防止や鳥獣を寄せ付けない環境づくりにも取り組み、町民が安心して暮らせる環境を守ります。



【西方】「秋の人足」なくては、ならぬ（9月6日）

本名 与四郎さん

9月6日の午前8時から11時30分頃を目安に西方地区において「秋の人足」が行われました。

今夏は全国的に猛暑による熱中症や日本だけでなく、海外でも地球規模の温暖化による自然災害で多くの尊い人命が失われたり、甚大な家屋の損壊がテレビ、新聞等報道されたりしましたが、西方地区においては大きな被害は報告されていないということでした。

当日は早朝から太陽が雲の間に隠れていて、暑過ぎることはないものの、作業の途中途中で水分補給が欠かせませんでした。14隣組がそれぞれの分担された箇所に分かれて作業を開始しました。普段あまり通ることがほとんどなくなった農道や林道の雑草は、暑さの影響もあり、大人の腰元ほどに伸びきっていました。

どの隣組でも、草刈り機のエンジン音が各箇所でも鳴り響いていました。

草刈り作業の移動途中、人家裏の畑に連日出没していたイノシシが、罾に一頭捕獲されているのを確認し、町役場の担当者に連絡して駆除されたとのことでした。また、休憩の合間に、小松順太郎さんの話によると松茸はまだ時期が早いものの、降水量も多く、寒暖差もあり今年は豊作になるかもしれないということでした。

また、イノシシや熊の皮を有効活用し、財布や小物入れとして六次化商品化している方もいる話など多種多様な町や町外情報を多く聞くことができました。秋の人足によって、地域の環境美化だけでなく、地区民の交流や情報交換を深めることができた半日となりました。

「人足で 足のフレイル 予防する」

「キノコめつけ 自然の恵み ひっそりと 秘密の基地で 笑いこぼれる」



▲ 作業前の集合写真



▲ 学生たちの作業の様子

【早戸】早戸温泉遊歩道整備事業を実施（9月2～6日）

橋本 光五郎さん

東北芸術工科大学、佐久間建設工業、早戸地区が協働して進めている早戸温泉遊歩道整備事業が、9月2日から6日までの4泊5日で実施されました。この活動は今年で17年目となります。今年は、東北芸術工科大学からは学生や教員、卒業生ら30名が参加しました。

今までは遊歩道奥の整備が中心でしたので、わざわざ見学に来てくださった方以外にはなかなか活動状況が目に入る機会が少なかったかと思いますが、今回はIORIカフェ横の遊歩道入り口部分にデッキと石垣を作成しましたので、つるの湯をご利用になる時に、その活動状況をご覧になった方々もいらっしゃるかと思います。

昨年整備した遊歩道奥から旧盛川屋跡地に抜ける新ルートについても、階段を追加整備するなどして歩きやすくなったかと思えます。まだ整備しなければならないところが残されていますが、それらは来年以降の整備となります。

地区としてもこの遊歩道の有効活用を考えていきますが、是非多くの方々に遊歩道を歩いていただければと思います。遊歩道マップはつるの湯に置いてあります。また、活動状況はInstagramにアップしていますのでご覧ください。

なお、この活動は「早戸地区の景観・環境整備事業」として、三島町の「地区支援事業補助金」の支援を受けて行なっています。


力いっぱい競技に挑戦！5・6年生が大活躍！
第34回両沼西部三町村小学校体育交流会陸上記録会


▲ 競技後の集合写真

三島町・金山町・昭和村の三町村小学校体育交流会陸上記録会が9月18日、金山町立かねやま小学校で開催されました。

三島小学校からは5・6年生12名が参加し、各自が自己記録の更新を目指して最後まで力いっぱい競技に挑み、日頃の練習の成果を発揮しました。

最後に行われた4×100mリレーでは、チーム一丸となって、三島小学校Aチームが見事1位を獲得しました。

全競技を終えた児童たちの顔には、全力を出し切った満足感と充実した表情を浮かべていました。

【桧原】「桧原健康を守る会」研修旅行（8月30日）

阿部 和彦さん



▲ いわき震災伝承みらい館の見学

「桧原健康を守る会」では、毎年9月第1日曜日に研修旅行を行っていますが、今年は都合により8月最終日曜日の30日に変更し、17名がいわき市での研修に参加してきました。

午前8時に集会所を出発し、会津坂下ICから磐越自動車道を使い2度の休憩を挟み「いわき震災伝承みらい館」を見学しました。管内でスタッフや震災語り部の案内・説明をいただき、当時の大津波による被災からの復旧、復興状況などを直接聞くことができました。

次に、塩屋崎灯台で美空ひばり像と「みだれ髪」の歌碑に立ち寄り、昼食・買い物とばりの会場「道の駅ら・ら・みゅう」、「小名浜イオン」へと向かいました。新鮮な刺身定食・寿司・海鮮BBQをそれぞれのグループに分かれて味わい、店内でお土産や家族への買い物を満喫し、夕方の5時頃に帰宅しました。

参加者の皆さんはゆっくりと買い物と食事ができて楽しいひと時となりました。

【滝原】二百十日のおこもり（8月31日）

佐久間 絹江さん

二百十日（9月1日）を前日に控えた8月31日に、滝原地区に代々受け継がれているおこもりが駒形神社で行われました。

コスモスが咲き始めた国道沿いの花だんを見下ろす山の中腹に鎮座する駒形神社のおこもりも、時代とともに姿を変えて、夜通しの慣わしは行われていません。

夜の帳が落ちかけた時刻（夜7時）に住民が参集し、宮司を招いてご祈祷が行われました。

これから数多く発生する風害に備え、また五穀豊穡を願い、感謝を込めて祈りを捧げ、住民の親睦を深め合いました。



▲ おこもりの様子

【間方】 歩く県道美女峠の草刈り行われる（9月12、13日）

菅家 壽一さん



▲草刈りのようす

9月12日・13日の両日、間方から昭和村に通じている、美女峠（県道 小林～宮下停車場線）の草刈りが行われました。この作業は、道の管理者である県から町への委託事業を、地区が行っているものです。高姫清水までの約5 kmを、地区の11名が参加して行われました。慣れた様子で刈払い機を操作し、道を覆っていた雑草が、みるみる刈り取られていきました。

只見川沿いの道路や鉄道が整備される前は、銀山街道（会津若松～銀山峠～石神峠～美女峠～吉尾峠～只見町）が主要道路でした。間方と野尻は、美女峠を通して仕事や生活の交流も盛んでした。県では、現時点での自動車道の整備は困難なことから、「歩

く県道」として、草刈りや道普請を行い、歴史と伝説のある美女峠の活用を推進しているものです。

江戸時代に巡見使に同行し美女峠を越えた古川古松軒（※）が、この楓は、竜田（奈良）や高雄（京都）よりも素晴らしいと書いています。間方側の峠道は、緩やかな勾配で道幅が広いことから、並んでおしゃべりしながら歩けることが魅力です。11月8日に、紅黄葉の楓の中、かしや猫クラブ主催の、高姫清水往復のトレッキングを行います。皆さん是非ご参加ください。

（※）古川古松軒（古川正辰）：江戸時代の地理学者

【桧原】 春日神社秋季例祭と「おこもり」（9月14日）

阿部 和彦さん

桧原地区の春日神社例大祭々典奉仕が神社本殿において、午前10時から神社総代、地区役員、地区住民11名の出席で斎行されました。

事前準備等、早朝から神社総代4名による参道周辺の草刈りや本殿の清掃が行われ、境内に祭りの旗が挙げられました。青木則勝宮司による祭典が厳粛に執り行われ、阿部時夫総代長と氏子代表の杉原慶志区長が玉串奉奠後に実りへの感謝、地区の繁栄や健康と安全を祈願しました。

その後、直会なおらいの前に青木宮司より伊勢神宮の式典遷宮について我々の知らない興味深いお話がありました。

午後7時からの「おこもり」は、5名の参加で実施され、今年の出来事や農作物の出来具合、昔の行事等の話題で盛り上がりしました。



▲おこもりのようす

【早戸】 早戸大山祇神社の二百十日祭と例祭（8月31日、9月15日） 橋本 光五郎さん

早戸大山祇神社では、8月31日に二百十日祭、9月15日には例祭を執り行いました。

8月31日は、朝6時30分から神社周辺の草刈りを行いました。18時からは宮司を招き二百十日祭、例祭の祭典を執り行いました。祭典には新たに早戸地区に移住された方も一緒に参列してくださり、久しぶりに少し賑やかな「祭典・おこもり」となりました。

9月15日の例祭は、悪天候が予想されていたので、総代会で協議した結果、朝の草刈り、旗の掲揚は中止し、10時からの「祭典・おこもり」だけを実施しました。



▲祭典・おこもりのようす

【宮下】 天候に恵まれ秋祭りを楽しみました（9月12日）

小島 純さん

宮下地区の三島神社御祭礼が9月12日に行われました。心配された悪天候も当日は絶好のお祭り日和になりました。

午前11時から三島神社において例大祭が厳かに執り行われ、その後神輿渡御が神社を出発し、後列に就いた山車が山車ばやしを奏でながら町を巡行、町内2箇所において神事が執り行われました。

午後2時から子ども神輿が神社を出発し、「ワッショイ！ワッショイ！」と元気な声が町内に響き渡りました。午後6時から、山車で太鼓や笛を鳴らしながら祭りをアピールし、町内を回り、6時30分からは活性化センター広場において賞品付き仮装豊年踊りが行われ、様々な仮装をした出場者が祭りを訪れた方の目を楽しませていました。

天候に恵まれた例大祭は朝から夜まで大いに盛り上がった1日でした。



▲神輿渡御のようす



▲盛り上がる宮下活性化センター広場

【西方】 地区元気！子ども神輿と豊年踊り（9月12日）

本名 与四郎さん

9月12日の例年行われている西方地区の「子ども神輿」は、早朝から雨模様のあいにくの天候でしたが、子ども御輿の出発時刻の午前10時頃には曇り空となり予定どおり行うことができました。

地区の小学生が一人もいないために、子ども御輿に携わってこられたOBの子ども御輿組の皆さんが2週間前からふるさとセンターに夜集合し、神輿につける花飾りを色とりどりに作ったり、豊年踊りの笛や太鼓などの練習をしたりして当日を迎えたということでした。

子ども神輿は旧児童館近くの郷倉から加登屋さんまでの直線の道のりを「ワッショイ、ワッショイ」と元気に担ぎ練り歩きました。お祭りがあると聞いて集まった地区の小さなお孫さんや宮下地区の児童の皆さんも参加し、お父さんやお母さんと一緒に大きなかけ声に合わせて活気あふれる巡行となりました。また、大学生の二瓶さんは大きな団扇うちわを勢いよく振ったり、小さな子どもたちを誘導したりして、子ども御輿を盛り上げました。さらに、西方地区では15年ぶりの赤ちゃんが誕生し、三澤龍太夫妻と龍聖ちゃんの自己紹介もあり、会場から大きな拍手と和やかな雰囲気となりました。

夜、午後7時30分になると五穀豊穰を願い「豊年踊り」が開催されました。今年も趣向を凝らした団体の仮装や個人による仮装が多く出場し、会場は楽しい雰囲気に包まれました。子ども神輿と豊年踊りで地区民に元氣と笑顔と喜びを与えた初秋の一日となりました。

「子ども御輿 笛や太鼓で 山粧う」
「仮装し 孫もビックリ みやくみやくさ」
「西方に 十五年振りの 子ができた」



▲子ども神輿のようす



▲神輿が地区内を練り歩くようす



▲豊年踊りのようす

インフルエンザ 流行シーズンに入りました

vol.115
健康で元気な毎日！
町民課保健福祉係 ☎ 48-5565

令和8年第35週（8月24日～8月30日）の福島県感染症発生動向調査で、定点（県内48医療機関）当たりの報告数が流行開始の基準を超えました。全国的に同様の傾向が確認されており、今後の動向に注意が必要です。例年よりも早期の流行開始となったことから、これからさらに感染者が増加していくことが予想できますので、早めの対策で流行シーズンに備えましょう。

【インフルエンザってどんな病気？】

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気です。38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。子どもではまれに急性脳症を、高齢の方や免疫力の低下している方では肺炎を伴う等、重症になることがあります。

【他の人への感染を防ぐにはどうしたらいい？】

インフルエンザは、1～3日間の潜伏期間があります。また、発症後3～7日間は鼻やのどからウイルスを排出すると言われています。周りにインフルエンザ陽性の方がいる場合には、体調の変化に注意しましょう。

【インフルエンザ予防接種について】

インフルエンザの予防には、うがい・手洗い・換気・マスクの着用等の基本的な風邪予防に加えて、予防接種も有効です。インフルエンザ予防接種は、発症を抑える効果と、発症した場合の重症化防止に一定の効果があります。接種後約2週間程度で効果が始まる、その後約5カ月間持続します。今年度も10月1日から接種を開始しました。早めの接種でインフルエンザの流行シーズンを乗り切りましょう。

新刊図書のご案内

町民センターゆめぽけっと

●今月のおすすめ

人魚が逃げた

青山 美智子 作



ある3月の週末、SNS上で「人魚が逃げた」という言葉がトレンド入りした。どうやら「王子」と名乗る謎の青年が銀座の街をさまよい歩き、「僕の人魚が、いなくなってしまって……逃げたんだ。この場所に」と語っているらしい。彼の不可解な言動に、人々はだんだん興味を持ち始め――。

そしてその「人魚騒動」の裏では、5人の男女が「人生の節目」を迎えていた。12歳年上の女性と交際の元タレントの会社員、娘と買い物中の主婦、絵の蒐集にのめり込みすぎるあまり妻に離婚されたコレクター、文学賞の選考結果を待つ作家、高級クラブでママとして働くホステス。

銀座を訪れた5人を待ち受ける意外な運命とは。

そして「王子」は人魚と再会できるのか。そもそも人魚はいるのか、いないのか……。

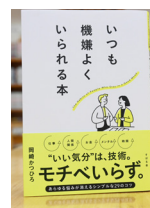
※本を返却する際は、必ず「返却BOX」に入れてください。
机の上や周りに放置しないでください。返却の手続きができません。

☎ 公民館 ☎ (48)5599

●その他図書の紹介

いつも機嫌よくいられる本

岡崎 かつひろ 著



サンショウウオの四十九日

朝比奈 秋 著



【問方】「棚田お田助オーナー」稲刈り行われる（9月19日）

菅家 壽一さん

9月19日宮ノ前地内において、オーナーとご家族、かしゃ猫クラブ、そして、アカデミー生が駆け付けてくださり、稲刈りが行われました。

近年、高齢化や採算が合わない等の理由で、問方ではほとんどの田んぼが耕作されなくなり、美しかった里山の景観も損なわれ、野生動物との棲み分けもなくなってきています。

このため、地区外の方々の力をお借りして、楽しみながら美しい景観を守っていただくとともに、自分でつくったおいしいご飯を食べていただこうと、数年前から始めたのが「棚田お田助オーナー制度」です。

稲穂もたわわに実り、10名により、2枚の田んぼ約1反のひとめぼれを刈取り、「ねり」に掛けました。今年は雨が多く田んぼが乾かず、とてもハードな稲刈りとなりましたが、参加者全員で、景観保持と収穫の喜びを分かち合いました。

ねり掛けした稲は、20日間程お天道様の恵みを受けたあと脱穀します。また、稲刈りの風景を写真に収めに来られた方もいらっしゃいました。



▲稲刈りのようす

地域おこし協力隊

活動誌

折り返し地点

お久しぶりです。早いもので地域おこし協力隊に赴任してから一年半が経過し、任期の半分を終えました。三島町での生活も二年目になると町が抱える課題が、他人事ではなく自らの生活に直結する問題として感じられるようになりました。全国の地域おこし協力隊がそれぞれの地域でどのような活動をしているのかを私はよく知りません。しかし、地域ごとの課題とその土地の歴史や歳時記を謙虚に知ろうとすることなしには、どのような地方創生に係わる取組も一過性で終わるのではないのでしょうか。

一年前から担当している「ふるさと納税」は、事務作業の見直しが一段落し、寄附金額を伸ばす取組へと軸足を移しています。ふるさと納税の市場規模は1兆円を超えるまでに成長している一方、近年は、返礼品の価格競争やポイント制度により本来の主旨とは異なる利益追求の手段になっていました。これを是正する

ため、国は返礼品の基準の厳格化や経費率の引き下げなどの制度の改正を進めています。このような制度の変更に合わせて次の一手を考えることが仕事の醍醐味です。

さて、スポーツの秋を迎え、鶴ヶ城マラソンの季節がやってまいりました。5キロメートルのコースは、前半は下りが多いのですが後半は長い上り坂です。後半にバテないよう、また、一緒に練習している三島小学校の子供達にカッコ悪い姿を見せないように、ペース配分を考えながら走ります。



▲茂田 龍揮さん

【マタタビ^{ざる}箒^{なわな}制作や縄^{なわな}織いの実演】

マタタビの米^{ざる}研ぎ箒の縁編みと、ヒロロの縄^{なわな}織いを実演しました。台湾の方々とは日本語で話しかけてくださることも多く、日本を身近な国として興味を持っていただいていることが伝わりました。

言葉が通じない場面でも、実演では動作を見せたり、実際に体験してもらったりすることで、言葉を介さないコミュニケーションが生まれることを実感しました。

最終日には、この夏に町ヘインターン生として滞在したアレックスさんとウィーチェイさんも来場し、一緒に縄^{なわな}織いを行いました。二人が縄^{なわな}織いを披露する姿からは、台湾の方々と私たち双方にこれまでの交流が根付き、より身近な関係を築けていると感じる場面となりました。



▲ インターン生 2 人と再会し、ともに実演

【国際交流フォーラムへの参加】

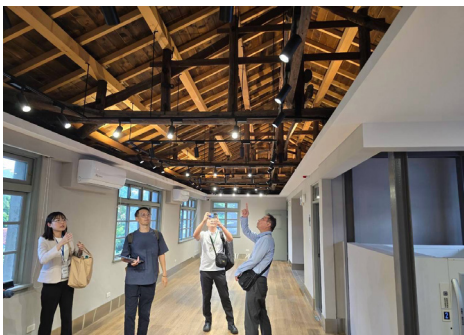
三島町をはじめ、各ものづくり組合の代表や工芸センターと同じく町と友好交流を結んでいる雲林科技大学の黄副学長（町名誉町民である宮崎先生の教え子）が登壇し、それぞれの活動について発表しました。三島町からは鈴木庄蔵副町長が、工人まつりや第二次生活工芸村構想について説明を行いました。発表後のパネルディスカッションや総合的な質問の時間には、特に三島町への質問が多く寄せられ、三島町への関心の高さが感じられました。



▲ 鈴木庄蔵副町長による町事業説明

【中興国際工芸村の視察】

今年 6 月に工芸センターから車で 30 分ほどの距離に歴史的建造物を改修し、工芸制作活動が可能な居住型の施設が整備されました。台湾国内や国外から工芸作家を招聘し、3 か月から 1 年の滞在、創作活動を通して、才能育成、創作展示、産業の充実、国際工芸交流などを目的とする拠点として活用されます。国際交流の観点からお互いの国への交換留学が条件としてあり、今後三島町からの工人さんの渡航や台湾工芸作家の受け入れが期待されます。



▲ 中興国際工芸村の説明を受ける鈴木庄蔵副町長

台湾訪問を終えて

今回の訪台では、これまで継続してきた交流が、町への理解や信頼を深めていることが確認できました。

台湾の国立機関と三島町が「ものづくり」を通じて交流を続けることは、町の工芸や地域文化を発信するうえでも大きな意義があります。

台湾は物理的な距離こそありますが、これまでの交流を通じて三島町への関心も高く、今後の誘客や情報発信につながる可能性があります。

今後も「ものづくり」を交流のツールとして、工芸ツアーなどによる誘客や、「見る・買う・体験する」機会の充実を進めていくことが重要です。台湾との交流を契機に、三島町ならではの魅力をさらに磨き、国内外の方から「ぜひ訪れたい観光先」として選ばれる場所になれるよう努力したいと思います。

☎ 三島町生活工芸館 ☎ (48)5502

国立台湾工芸研究発展センタークラフトイベント出展 ～「台湾工芸衆（Taiwan Craft Gathering）」への参加～

8 月 28 日^⑤～8 月 30 日^⑥の 3 日間、三島町と交流協定を結んでいる国立台湾工芸研究発展センター（以下、工芸センター）が主催する工芸品の展示販売イベント「台湾工芸衆（Taiwan Craft Gathering）」へ出展し、展示販売・実演の実施、国際交流フォーラムへの参加と中興国際工芸村の視察を行いましたので、その内容を報告します。

【イベントと出展者】

台湾各地には、藍染・草木染・蘭草・竹・籐など地域の素材を活かした工芸組合が 50 以上あり、工芸センターと協働しながら技術・デザインの向上に取り組んでいます。こうした作り手が台湾全土から集うことが「台湾工芸衆」の名称の由来となっています。

開催地は毎年変わりますが、今年は原点回帰として南^{ナントウ}投^{ツァオトゥン}県草屯鎮にある工芸センターで開催されました。国外からは韓国の染織グループと日本から三島町が招待されました。



▲ 開会式の様子



▲ 出展者との交流



▲ 台湾全土から多数の出展者

【展示販売と台湾のニーズ】

三島町からは、編み組み細工や会津桐タンス製品を展示販売しました。特に人気を集めたのが桐の茶筒です。台湾では日常的に茶葉を淹れる文化があり、密閉性の高さや時代仕上げの美しさが評価され、用意した茶筒は完売しました。

一方、現地のデザイナーや茶葉店からは、「茶葉の袋ごと保存したい」「桐の香りが茶葉に移らないか心配」といった声も寄せられました。今後のインバウンド需要や輸出の可能性を踏まえ、製品開発の参考に町内の作り手へ情報共有します。

また、「かしゃ猫こけし」や「トンボ型山ブドウキーホルダー」など、具体的なモチーフを持つ作品も好評で、台湾の方々の嗜好を知る機会となりました。

編み組製品では、これまで交流のあった各産地の作り手の方々が来店し、これまで何度か作品を見ていただいた中で、今回購入につながる場面もありました。

さらに、これまで一緒に活動してきた現地担当者や通訳の方々が、私たちが日本語で話し始める前からお客様への説明を始めてくれる場面も多くありました。継続して交流してきたことで、三島町や編み組み細工への理解を深めてもらっていると実感できました。



▲ 販売のようす



▲ 三島町の出展ブースを訪問する主催者の梁代表



▲ 茶筒が人気



国環研だより 第 98 回 夏休み「三島町公民館事業」で環境について学ぶ

三島町のみなさま、こんにちは。今回は 2026 年 8 月 20 日に三島町町民センター大ホールで開催された、三島町公民館事業「エコとあかりの進化を学ぼう」の様子をご紹介します。

当日は三島町の子どもたち 14 名が参加し、パナソニックエレクトリックワークス株式会社と国立環境研究所福島地域協働研究拠点が、それぞれの教材を用いてプログラムを実施しました。

はじめに、パナソニックから LED 電球についての説明がありました。照明の歴史や進化、光の三原色、少ない電力で明るくできる LED 電球の特徴などについて解説を受け、子どもたちは家庭の照明を LED に替えることで電力の節約につながることを学びました。その後、実際に手作り LED ランタンづくりに取り組みました。ドライバーや接着剤を使って部品を組み立て、完成したランタンを見てうれしそうにスイッチを入れていました。

続いて、私たち環境研からは、「気候変動適応への道」すごろく、低学年向けの「かんきょうすごろく」を体験してもらいました。「気候変動適応への道」は、CO₂の排出を抑える「緩和」と、変化する気候の中でよりよく暮らすための「適応」について考えながらゴールを目指します。ゲームに出てくる出来事を通して、気候変動による影響と、身を守るための行動や備えについて学びました。

一方、「かんきょうすごろく」では、すごろく内のクイズマスに止まるたびに、電気やごみ、自然に関する〇×クイズに挑戦しました。子どもたちは真剣にクイズに答え、ゴールを目指して白熱した勝負を繰り広げていました。



写真：低学年向けの「かんきょうすごろく」を遊ぶ子どもたち

すごろくを終えた子どもたちは、パナソニックによる手回し発電の電車模型も体験しました。ハンドルを一生懸命回して電車模型を動かした後、模型をモバイルバッテリーにつなぐと、手で回すよりもずっと速く電車が動き、みんな驚いた様子でした。電気の力はとても大きいものなんだ、と実感したのではないのでしょうか。

LED ランタンづくり、すごろく、手回し発電と、それぞれの活動を通じて、参加した子どもたちは電気や気候変動などを身近なこととして学べたのではないかと思います。国立環境研究所は、これからも地域のみなさまと連携し、子どもたちが環境について楽しく考え、自分たちの行動につなげられるような環境学習に取り組んでいきたいと考えておりますので、これからもよろしくお願いいたします。

●国立環境研究所福島地域協働研究拠点 地域環境創生研究室 ☎ 0247(61)6572



筆者 常盤達彦

町史編さん室だより

第129回

大正9年、柳津小出古町間鉄道敷設の請願

ご家庭に古い文書や写真などがございましたら、交流センター山びこへご連絡ください。

☎ (52) 2165

町が所蔵する資料の中で只見線の敷設を願うものは、当時西方村の助役を務めていた山内政記の日記の記述（昭和3年（1928）1月13日分）が最も古いものでした。今回、大正9年（1920）の鉄道敷設請願書が発見されたので紹介します（名入・坂内家文書）。

柳津小出古町間鉄道敷設請願

福島県会津若松ヨリ柳津只見ヲ経テ新潟県小出町ニ至ル鉄道予定線八十八哩ノ内会津若松ヨリ柳津間二十二哩ハ第四十三議會ニ於テ貴衆兩院ヲ通過シ敷設ノ運ビニ相成候事ハ実ニ喜悅ノ至リニ堪ヘス候柳津ヨリ古出間六十六哩及只見ヨリ古町間二十二哩ノ線路ハ本年八月鉄道省ニ於テ測量ノ結果地勢宜シク勾配緩和ナリ抑ニ本線路ハ東海道名古屋ヨリ奥羽線ニ連絡スル本州縦断線ニシテ漁塩鉱物森林水力等多大ノ富源ヲ有ス而シテ福島県南会津大沼二郡ノ如キハ広袤三百余方里ヲ有シ其ノ茫漠タル林野開墾事業及官公造林奨励上將又地方経済上ニ於テ交通機關ヲ要スル誠ニ急務ナリ加フルニ本鉄道ハ国家経営上ヨリ見ルモ急設ヲ希望スル次第ニ有之候條仰キ願クハ速ニ敷設被成下度無限ノ宝庫ヲ開発シ以テ地方民ノ宿望ヲ達セラレン事ヲ謹テ奉請願候

頓首

大正九十一月

貴族院議長 徳川 家達殿

衆議院議長 奥 繁二郎殿

鉄道大臣 元田 肇殿

内容は、柳津駅まで鉄道が延伸することが大正9年の帝国議会で議決したことを喜ぶとともに、その先の鉄道敷設を願うもので、多大な富源を有するこの地域に鉄道が敷設されることが国家経営、地方経済を考えても急務であるため、急設いただきたいとしています。本文の特徴として、小出までの現在でいう只見線だけでなく、只見から古町（旧伊南村）までの鉄道の敷設も願っていること、また距離を昭和初期からの料ではなく、明治期から使われていた哩で記載していることなどが挙げられます。

そのほか、請願と同時期の「鉄道敷設期成同盟会規則」や「川口村役場ニ於

ケル協議会決議書」もありましたので掲載します。

鉄道敷設期成同盟会規則

第一条 本会ハ国有鉄道予定線中柳津小出間六十六哩及只見古町間二十二哩ノ營養線ヲ急設ノ義政府及貴衆兩院ニ請願シ敷設ヲ期スルヲ以テ目的トス

第二条 本会ハ柳津小出只見古町間鉄道敷設期成同盟会ト称シ事務所ヲ大沼郡川口村役場南会津郡伊北村役場ノ二ヶ所ニ置ク

各村ニ支部ヲ置ク

第三条 本会ハ第一条ノ目的ヲ完成スル迄右ノ役員ヲ置ク
会長一人（南会津郡） 副会長二人（南会一人 大沼一人）
支部長若干名 幹事若干名 委員若干名

川口村役場ニ於ケル協議会決議書

一 鉄道敷設請願ノ為メ出京委員五名ヲ選挙スルコト

一 出京期日ハ十一月十五日ヲ予定ス

一 請願書ハ十一月十五日迄ニ調印スルコト

一 出京委員ノ有限支給額ハ第一回分（今回分）ハ一人ニ付金五十円トス

一 県知事ノ副申ヲ請フ等ノ為メ出県者一名選挙スルコト

一 出県委員ノ有限支給額ハ金四十円トス

前記費用及通信運搬費筆紙墨代ニ充ツル為メ各村出金額左ノ通り定ム

一金五十円 川口村組合 一金五十円 横田村組合 一金五十円 沼沢村

一金五十円 西川村組合 一金五十円 西方村 一金三十円 野尻村

一金二十円 大芦村 一金三十円 中川村組合

其他ノ町村一役場部内金十円ツ、トス

各村の出金額は、現在の金山町までで後年線路の敷かれることになった村が高く、敷かれなかった村、まだ線路が敷かれるのは遠い先のことだった（もしくは敷かれることのなかった）南会津郡の村々は低くなっています。

（町史編さん室）

※引用文の旧字は常用漢字にあらため、難読字にはルビを振っています。

宮下病院からのお知らせ

肺炎球菌ワクチンをご存じですか？

宮下病院薬剤部

肺炎は、特に高齢者にとって重症化しやすい病気です。肺炎球菌は、肺炎の主な原因となる細菌の一つで、ワクチン接種により、発症や重症化を予防する効果が期待できます。

令和8年度から、高齢者の肺炎球菌ワクチンの定期接種で使用されるワクチンがプレベナー 20（PCV20）に変更されました。定期接種の対象は、65歳の方などで、自己負担額は各市町村によって異なります。

プレベナー 20は1回の接種で予防効果が長く持続します。また、定期接種の対象でない方も、医師と相談のうえ、任意接種（自費）として接種することができます。接種を希望する方は、ぜひご相談ください。

📍福島県立宮下病院 ☎(52)2321

町からのお知らせ

10月分納税のご案内

【納期限 11月2日(月)】

▼ 町県民税 (普通徴収) (第3期)

▼ 後期高齢者保険料 (普通徴収) (第3期)

忘れずに納付してください。

📍町民課 町民係 ☎(48)5555

ご寄附ありがとうございました

ふるさと納税(8月分)

寄附件数 13 件 計 375,000 円

🌸 お悔み申し上げます

渡辺 健一 様 (62才・大石田)

河越 テルイ 様 (98才・桑原)

金子 喬 様 (82才・宮下)

町の人口と世帯(9月1日現在)

人口	1,249	増減数	-5	出生	1
男	625		-5	死亡	4
女	624		0	転入	1
世帯	654		-3	転出	3

※住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

社会福祉協議会より

桧原はつづクラブ

10月6日(火)
午前10時から
桧原集会所

大石田友遊サロン

10月7日(水)
午前10時から
大石田集会所

間方いきいきクラブ

10月9日(金)
社会見学

浅岐あったかサロン

10月9日(金)
社会見学

サロンないり

10月13日(火)
社会見学

高清水小山いきいきサロン

10月13日(火)
社会見学

大登サロン

10月13日(火)
社会見学

サロンなごみ

10月15日(木)
午前10時から
西方ふるさとセンター

ひまわりサロン

10月19日(月)
社会見学

西方ほがらかサロン

10月22日(木)
午前10時から
森の校舎カタクリ

滝谷和楽塾

10月23日(金)
社会見学

川井友愛サロン

10月23日(金)
社会見学

大石田友遊サロン

11月2日(月)
午前10時から
大石田集会所

川井友愛サロン

11月6日(金)
午前10時から
川井集会所

◆ 心配ごと相談 ◆

10月28日(水) 福祉センター

9時30分から11時30分まで

町社会福祉協議会へのご寄附

(ご遺志によるもの)

渡辺 翔太 様 (大石田)

栗城 義昭 様 (桑原)

金子 裕美 様 (宮下)

📍社会福祉協議会 ☎(52)3344

愛ばんしょ外来からのお知らせ

三島町ケーブルテレビ三島通信で健康教室を放送中です。

10月「放っておくと怖い皮膚疾患」を2か月に渡ってお伝えします。

ぜひご覧ください。

📍福島県立宮下病院 ☎(52)2321



会津坂下警察署からのお知らせ

警察庁推奨アプリで対策を！

携帯電話に特殊詐欺の犯人から架電される事案が増加していますが、自ら詐欺対策を行っている方は少ないです。

まだ何も対策をしておらず、「私は大丈夫!」と思っている方も、まずは簡単、短時間でできるスマホ対策から始めてみましょう！

無料！特殊詐欺対策アプリ

警察庁から、以下の機能を備えた無料でダウンロードできる詐欺対策アプリを配信しています。

無料でダウンロードして使用できますので、ぜひ詐欺電話対策に活用してもらい、身を守りましょう。

【アプリの主な機能】

- ・ 国際電話の発着信を一括ブロック・警告
- ・ 特殊詐欺等の犯行に利用された番号（国際電話番号を含む）の発着信ブロック・警告
- ・ 警察庁から特殊詐欺に関する防犯情報のお知らせ

【ダウンロードはQRコードから行ってください】

① 詐欺対策 byNTT タウンページ

② 詐欺バスター Lite



ダウンロードできない方は、最寄りの警察署に相談してください

📍会津坂下警察署警務係 ☎0242(83)3451

からんころんからのお知らせ

茶屋&キッチンカーの日		
店名 / 営業日		メニュー
宮下そばの会 (宮下荒屋敷地区有志の皆さん)		ざる蕎麦 ・並盛 700 円 (税込) ・大盛 1,000 円 (税込) ・特盛り 1,200 円 (税込)
毎月第 2 ・ 4 週の(土・日)		
10/10・11 日 (土・日)		
24・25 日 (土・日)		
時間 11:00 ～ 14:00 ※売り切れ次第終了		
中国風カフェ 茶吧 誠 (磐梯町 / キッチンカー) ※イベント広場		中国茶 400 円 (税込) ～ ・薬膳茶 400 円 (税込) ～ ・点心 (軽食) 100 円 (税込) ～ ・飲茶セット 700 円 (税込)
10/ 7 日(※) 11:00 ～ 17:30		

からんころん 営業案内

【時間】8:30～17:30

消防署からのお知らせ

あなたの命を守る

マイナ救急！

マイナ救急とは？

119番通報で駆けつけた救急隊員は、搬送されるご本人の名前や生年月日等の基本的な情報のほか、かかりつけの病院や現在服用しているお薬などの様々な情報の聞き取りを行います。

これらの情報は、搬送する病院の決定や救急車内での処置、病院到着後にすぐに治療を始めるための準備などに役立てられており、ご本人の命を守るために欠かせない情報となります。

一方で、病気やけがで苦しむご本人や、気が動転しているご家族の方から、これらの情報を正確にお伝えいただくことは、場合によっては困難なこともあります。

マイナ救急では、救急隊員がご本人のマイナ保険証を活用し、傷病者が過去に受診した病院や処方されたお薬などの医療情報を閲覧します。ご本人や付き添われるご家族の方の負担を軽減するとともに、傷病者の方がより適切な処置を受けるのに活用します。

マイナ保険証があれば、話すのがつらい時、自分の薬を忘れた時でもより適切な処置を受けられます。

あなたの

病歴

お薬の

処方箋

病院の

受診歴

📍会津坂下消防署 三島出張所

☎(52) 3032 / FAX(52)3033

会津学生寮の入寮生を募集しています

東京都にある会津学生寮では、東京近郊の大学に就学する男子学生を対象に、令和9年度入寮生を募集します。

応募資格	
① 保護者が会津出身であるか、または現在会津に居住していること。	
② 原則として4年制の大学に入学する者、または第2学年に進級する在学生。	
③ 心身ともに健康で、共同生活のきまりを守って生活できること。	
募集人員・募集期間・面接	
【第一次募集】募集人員 3名程度	
募集期間 11月1日(日)から11月30日(日)まで	
面接 12月12日(土)	
【第二次募集】募集人員 3名程度	
募集期間 令和9年1月15日(金)から2月15日(日)まで	
面接 2月26日(金)	
ホームページ	
ホームページ(aizuryo.org)に入寮案内・募集要項、生活の様子が掲載されています。	

連絡・問合せ先

公益財団法人 会津学生寮 〒112-0011 東京都文京区千石1-4-16
☎03(3947)0325 メール aizuryo.org@gmail.com

三島町文化祭

令和8年10月31日(土)

9:00～ 三島小まつり、町民センター内作品展示、屋外展示・販売等

13:00～ ステージ発表

【会場】 三島町役場前駐車場及び町民センター

【展示・体験】

写真や生け花、絵画などの作品展示のほか、関係機関による様々なテーマの展示をご覧ください。

【ステージ発表】

三島町の子どもたちや三島中学校生徒による発表のほか、今回も特別な企画をご用意しておりますので、ぜひお越しください。

【飲食物・販売品】

役場前駐車場特設会場において、今年も各協力店舗による飲食品の提供のほか、米・きのこ等の販売も行います。また、町民センター内ではランチBOX食堂も営業いたします。

※ 詳しい展示や出店、芸能発表のプログラムは10月第3週の区長文書にて全戸配布します。

主 催:三島町文化祭実行委員会

問合せ:交流センター山びこ 電話(52)2165
公民館 電話(48)5599

町のイベント一覧

10-11月

月日	曜日	予 定 公 務
10/4	日	防災訓練(宮下地区) 五十嵐七重さん昔語り公開収録
5	月	三島中学校3年生修学旅行報告会
6	火	三島町社会福祉協議会会長杯グラウンドゴルフ大会
8	木	福島県知事選挙告示日
9	金	福島県知事選挙期日前投票(～24日(土))
10	土	会津の編み組工芸品展・ものづくり再光(～11日(日)) ふくしま三大鶏フェス
17	土	五十嵐七重さん昔語り公開収録 白河—奥会津フェア in 大宮駅
18	日	三島町消防団秋季検閲式 「日本で最も美しい村」福島県内加盟町村合同物産展(大玉村) 福島くらし&しごとフェア2026(東京)
20	火	農機具・粗大ゴミ回収
24	土	三島中学校「桐陽祭」
25	日	福島県知事選挙投票日
31	土	三島町「文化祭」 三島小まつり
11/5	木	奥会津展(仙台)(～7日(土))

三島町公式Instagram

三島町では、4月より公式Instagramを開設しました。

観光やイベントの情報を発信しておりますので、ぜひアカウントをフォローのうえご覧ください。

投稿への「いいね」やリポストでの拡散にも、皆様のご協力をお願いいたします。



三島町 公式LINEアカウント

防災情報、生活情報、イベント情報などの暮らしに関する情報をお届けします！

追加方法
右のQRコードをスマホのカメラで読み取ってください。



追加方法が分からない方は地域政策課にお問い合わせください。

お問い合わせ先 三島町役場 地域政策課 電話0241-48-5533